

帯広ーJICA 協力隊連携事業 JICA 海外協力隊（短期）要請概要等

1. 国名：パラグアイ共和国

2. 募集職種・人数：家畜飼育・飼料作物 6名

3. 派遣期間：2027年8月下旬頃～9月下旬頃を予定

※JICAの選考終了後に決定

4. 配属先概要

1) 受入省庁：経済財務省

2) 配属先：パラグアイ生産者組合連盟（FECOPROD）

3) 任地：アルト・パラナ県、イタプア県にある FECOPROD 傘下の農協

4) 県概要

① アルト・パラナ県：

アルト・パラナ県は、ブラジルとの国境の町、エステ市（人口国内第2位）を中心とした県であり、22市町村から構成されている。エステ市は、ブラジル側のフォス・ド・イグアス市と橋で繋がっており、行き来は盛んである。また、世界最大級のイタイプダムや日系移住地のひとつであるイグアス移住地もある。イグアス移住地の日系セタパール財団には、本学のパラグアイオフィスが設置されており、関係が深い。小麦、大豆、トウモロコシの生産などは、国内有数である。

② イタプア県：

イタプア県は国内第10位（アスンシオン及びその近郊を除くと2位）の都市エンカルナシオン市を中心とした県で、小麦、大豆などの穀物、さらには畜肉製品や牛乳加工品の生産地として知られている。30市町村から構成され、県庁は農業分野を担う農業生産開発局をはじめ、公共事業部、教育文化部、環境部他から成り立つ。同県内には世界各国からの移住が多いが、特にドイツ系と日系の移住が多い地域である。

5. 要請概要

1) 配属先概要

生産協同組合連合会（FECOPROD）は、協同組合の保護、人材育成、技術支援を目的に1975年設立され、34の生産協同組合によって構成される協同組合機関である。加盟組合は各拠点で生産、加工、商品化を行い、配属先はこれらの活動を促進するための技術的、制度的管理を行っている。草の根技術協力『パラグアイ酪農の持続可能な発展をめざすネットワークを活用した酪農家支援体制構築プロジェクト（PROMELE フェーズ3）』（2022年3月～2026年10月）を実施中であるほか、過去に技術協力プロジェクト『パラグアイにおける農牧バリューチェーン強化』（2021年3月～2025年9月）を実施。年間予算は、約400万ドル（2024年）

2) 要請理由

現在、配属先で JICA の支援のもと帯広畜産大学と協働で実施している PROMELE3 では、科学的に示されたデータに基づいて、農協獣医師が酪農・経営指導ができるよう協力を行っている。パラグアイ酪農は、群管理（牛をグループで飼育し、管理）が基本であることから、個体の細かい情報を把握することが難しく、病気の発見が遅れたりすることがあった。このことにより、乳価が低く抑えられたり、薬品代の支出など、酪農家にとって、大きな課題問題であった。これらの問題点を解決するため、個体管理（牛を一頭ずつ管理）のアプローチを行っており、それにより個体の健康状態や病気を的確に把握できるようになることが期待されている。一方、データではわからない各酪農家の問題点を現場を訪問することによって把握し、新たな視点を持って改善点を提案することも求められていることから、短期隊員の要請がなされた。

3) 予定されている活動内容

本プロジェクトでは、酪農情報システム（SISCOLE）を活用し、搾乳衛生、飼料給与改善、繁殖管理改善をとおして、酪農生産性を向上させて酪農家の経営改善を図ることを目的とする。農協に配属された長期ボランティアだけでなく、プロジェクトに参画している獣医師等からのサポートを受け、活動を実施する。

4) 業務使用言語：スペイン語（訓練言語）

5) 選考指定言語：英語

※学内選考までに、JICA 選考時に必要な語学資格を取得しておいてください。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/application/short-seinen/language/>

6. 地域概況

- 1) 気候：温暖湿潤気候
- 2) 気温：（年間：0～40℃，派遣時期：15～35℃）
- 3) 電気：安定
- 4) 電話：通話・インターネット可
- 5) 水道：安定

7. 応募条件

- 1) 帯広畜産大学所属（派遣時に学部3年次以上、もしくは大学院生）
- 2) 日本国籍を有していること（JICA から提示された条件）

8. その他

JICA 合否決定後、大学が定期的に行うスペイン語研修や派遣前研修（座学＋実習）などに参加すること。

JICA や大学から求められる提出書類等、期日厳守すること。

以上